

# 産業廃棄物の排出及び処理状況等 (平成 28 年度実績) について



環境省は、平成 28 年度の全国の産業廃棄物について排出及び処理状況等を調査し、結果を公表しました。

1. 全国の産業廃棄物の総排出量：前年度比 約 415 万トン(約 1.1%)減  
平成 28 年度総排出量は約 3 億 8,703 万トン
2. 業種別排出量：上位業種は前年度と同様、上位 5 業種で総排出量の 8 割以上
 

1) 電気・ガス・熱供給・水道業	約 1 億 44 万トン(26.0%)
2) 農業・林業	約 8,090 万トン(20.9%)
3) 建設業	約 8,076 万トン(20.9%)
4) パルプ・紙・紙加工品製造業	約 3,132 万トン( 8.1%)
5) 鉄鋼業	約 2,724 万トン(7.0%)
3. 種類別排出量：前年度と同様、上位 3 品目で総排出量の 8 割以上
 

1) 汚泥	約 1 億 6,732 万トン(43.2%)
2) 動物の糞尿	約 8,047 万トン(20.8%)
3) がれき類	約 6,359 万トン(16.4%)
4. 産業廃棄物の処理状況：前年度比 約 3%減(最終処分量)
 

1) 再生利用量	約 2 億 405 万トン(52.7%)
2) 減量化量	約 1 億 7,309 万トン(44.7%)
3) 最終処分量	約 989 万トン(2.6%)

当社では、産業廃棄物の分析にも取り組んでおります。埋立処分だけでなく、リサイクルの過程などで分析が必要な場合も、お気軽にお問い合わせください。

資料 [2019 年 1 月 10 日付 環境省報道発表資料](#)

土壌環境箇所 坂田旭子

